

シラバス（前期・後期）

宮崎医療福祉専門学校

授業科目	運動学			時間数	90
学 科	理学療法士養成学科	学 年	1	単 位 数	3
担当講師	竜田 庸平	取得資格	認定理学療法士、教育学修士		
		実務経験	有	経験年数	16
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人体の筋腱骨の運動 ・ 人体のバイオメカニクス(歩行、運動理論) ・ 運動学習と脳機能 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人体の運動を解剖学的知識で使って説明できる。 ・ 脳機能と運動学習過程を生理学的知識で説明できる。 ・ 正常歩行と異常歩行の違いを観察できる。 				

授業計画

No	授 業 内 容
1	運動学という言葉の意味、運動学に必要な公式(4時間)
2	運動の法則、基本肢位、面と軸(4時間)
3	骨の種類、構造、代謝(4時間)
4	関節の種類、構造、軸(4時間)
5	神経の種類、構造、生理学的知識(6時間)
6	随意運動と不随意運動、反射、姿勢制御(6時間)
7	筋収縮の過程とエネルギー代謝(4時間)
8	上肢の運動学(肩関節4時間、肘関節4時間、手関節4時間、手指4時間)
9	下肢の運動学(股関節4時間、膝関節4時間、足関節4時間)
10	体幹の運動学(4時間)
11	骨の触診技術(6時間)
12	腱の触診技術(6時間)
13	正常歩行と異常歩行(4時間)
14	運動学習と記憶(4時間)
15	脳機能と運動学習過程(6時間)

テキスト 参考書等	中村隆一;基礎運動学,医歯薬出版 中島雅美;PT・OT基礎から学ぶ運動学ノート,医歯薬出版
成績評価及び 単位認定の方法 履修上の留意点	実技試験(触診技術10点) 小テスト(10点×4) 本試験(50点)

シラバス（後期）

宮崎医療福祉専門学校

授業科目	障害学			時間数	30
学 科	理学療法士養成学科	学 年	1	単位数	1
担当講師	平島 陽子	取得資格	理学療法士		
		実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	経験年数	16年
授業内容	健常歩行に関する客観的な知識と歩行のメカニズムを理解する。				
到達目標	1. 基本的な力学や歩行周期各相の役割を理解する。 2. 健常歩行における各関節の筋活動および機能、関節運動を理解する。 3. 異常歩行の特徴と原因を学習する。				

授業計画

No	授 業 内 容
1	健常歩行における基本的力学、総論
2	歩行周期、歩幅、歩隔
3	歩行周期における用語の説明
4	歩行周期各相の特徴と役割
5	歩行速度とケーススタディ
6	小児と高齢者の健常歩行、歩行と走行の違い
7	健常歩行における下肢・体幹の役割
8	歩行における各関節の詳細－距腿関節とMTP関節
9	歩行における各関節の詳細－距骨下関節
10	歩行における各関節の詳細－膝関節
11	歩行における各関節の詳細－股関節と骨盤
12	歩行における各関節の詳細－体幹と上肢
13	ケーススタディ
14	
15	

テキスト 参考書等	観察による歩行分析：医学書院 (訳 月城慶一 山本澄子 江原義弘 盆子原秀三)
成績評価及び 単位認定の方法 履修上の留意点	筆記試験 100点

シラバス（後期）

宮崎医療福祉専門学校

授業科目	リハビリテーション概論			時間数	30
学 科	理学療法士養成学科	学 年	1	単 位 数	1
担当講師	小川哲史	取得資格	認定理学療法士		
		実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	経験年数	29
授業内容	リハビリテーションの語源、障害について、ノーマライゼーション、資格制度など専門職に必要な講義を実施。				
到達目標	リハビリテーションとは何かを理解し、理学療法士として他職種と連携しながら業務をすすめるために、その意義を学ぶ。リハビリテーション専門職としての役割を学ぶ。				

授業計画

No	授 業 内 容
1	リハビリテーションとは何か(2時間)
2	リハビリテーションの歴史(2時間)
3	リハビリテーション専門職職域(2時間)
4	身体機能障害について(2時間)
5	アセスメントとは(2時間)
6	ICHD、ICF について(2時間)
7	疾患別理学療法の関わり(中枢疾患)(2時間)
8	疾患別理学療法の関わり(運動器疾患)(2時間)
9	疾患別理学療法の関わり(内部障害疾患)(2時間)
10	疾患別理学療法の関わり(小児疾患)(2時間)
11	疾患別理学療法の関わり(特定疾患)(2時間)
12	リハビリテーション専門職の連携(2時間)
13	リハビリテーション専門職の人材登用、育成(2時間)
14	リハビリテーション政策(2時間)
15	リハ関連機器について(2時間)

テキスト 参考書等	学生のためのリハビリテーション医学概論(医歯薬出版株式会社)
成績評価及び 単位認定の方法 履修上の留意点	テスト